CrossRef × ジャパンリンクセンター
合同ワークショップ

識別子ワークショップ

～ JaLC、CrossRef、DOI、ORCID、そして… ～

日　時：　2014年 11月6日(木) 10:00～11:30（ 受付開始 9:30～ ）

会　場：　パシフィコ横浜 （神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）
第16回図書館総合展内
フォーラム第6会場（アネックスホール 206）

主　催：　ジャパンリンクセンター運営委員会

定　員：　２００名

入場料：　無料

言　語：　日本語/英語（同時通訳付き）

ジャパンリンクセンター（JaLC）は、学術論文に対するDOI登録サービスを行い、2013年度末にはDOI登録件数が200万件を突破しました。また、今後さらに、研究データやe-learning教材などの幅広いコンテンツに対しても、DOI登録ができるようになります。
世界に先んじてDOIに関連する新サービスを開発しているCrossRefのEd Pentz氏と、CERNのSalvatore Mele氏をお招きし、DOIを中心をした、論文とそれに関連する研究情報（研究者、ファンド、データ、等）を効果的につなげて活用するための将来像を検討します。

スケジュール

時 間	演 題	講演者
10:00-10:05	開会のご挨拶	**水野 充**【JaLC運営委員会 副委員長】 （独立行政法人 科学技術振興機構 知識基盤情報部 部長）
10:05-10:25	**識別子を用いた学術コミュニケーション ～JaLCの現状とビジョン～**	**武田 英明**【JaLC運営委員会 委員長】 （国立情報学研究所 教授）
10:25-10:45	**CrossRef：学術コミュニケーションを促進させるメタデータと識別子の活用**	**Ed Pentz** （CrossRef Executive Director）
10:45-11:05	**大規模ユーザによるデジタルライブラリ構築に係るORCIDの機会 ～INSPIREと高エネルギー物理分野の事例～**	**Salvatore Mele** （CERN）
11:05-11:30	質疑応答 パネルディスカッション	＜モデレータ＞ **谷藤 幹子**【JaLC運営委員会 委員】 （独立行政法人 物質・材料研究機構 科学情報室 室長）

参加申込

参加ご希望の方は
jalc-contact@jst.go.jp 宛に「**11/6図書館総合展　識別子ワークショップ**」の件名にて
(1)**ご所属**、(2)**氏名**、(3)**メールアドレス**を明記のうえ、電子メールにてお申込ください。

講演者の紹介と講演概要

武田英明 博士

＜講演者紹介＞
国立情報学研究所（NII)教授、および総合研究大学院大学（総研大）教授。ジャパンリンクセンター運営委員会委員長、ORCID理事会。東京大学 大学院 工学系研究科 博士課程 修了。 東京大学工学博士。現職以前は、ノルウエー工科大学、奈良先端科学技術大学院大学勤務。2005－2010まで東京大学 人工物工学研究センター 価値創造イニシアティブ寄付研究部門教授（併任）。研究の関心はセマンティックWeb、知識共有システムやデザイン理論。
＜講演概要＞
ジャパンリンクセンター（JaLC）の概要と今後の計画を紹介します。 JaLCは科学技術振興機構（JST）、物質・材料研究機構（NIMS）、国立情報学研究所（NII）、国立国会図書館（NDL）と共同で日本でのDOI普及を強化するために2012年に設立されました。 JaLCの当初のDOI登録対象は日本国内で出版されたジャーナル論文でしたが、今後ははDOI登録を拡大してまいります。一つの方向性は報告書や著者版のジャーナル論文など様々な資料が含まれている機関リポジトリのコンテンツにDOIを登録することです。もう一つの方向性はDOI登録対象に、研究データを含めることです。そのため、現在、DataCiteとの連携と、研究データへのDOI登録実験プロジェクトの取り組みを開始したところです。DOI登録対象の拡大に伴い、例えば、ORCID ID、資金配分機関の情報を有するFundRefなど他の識別子と連携することが重要になります。この目的を達成するためのメタデータ項目を検討し、今年12月から使用を開始します。

エド・ペンツ 氏

＜講演者紹介＞
CrossRefエグゼクティブ・ディレクター、CrossRefは出版社間相互参照リンクサービスを提供するように設定された出版社の非営利の会員制出版者協会です。ORCID取締役会長、ORCIDは2010年に設立された研究者のための固有の識別子のレジストリです。CrossRefが2000年に設立された際、最初のエグゼクティブ・ディレクターに任命され、現在CrossRefは世界中から4,000を超える組織が加入するまでに成長しました。CrossRef以前は米国と英国のハーコートブレイス社で電子出版、編集、販売職を歴任し、1995年にはアカデミックプレス社の最初のオンラインジャーナルである分子生物学ジャーナル（the Journal of Molecular Biology）の立ち上げ並びに管理・運営を行いました。プリンストン大学で英文学の学位を取得、現在英国オックスフォード在住。
＜講演概要＞
CrossRefは収集したメタデータの活用を拡大し、出版物、資金配分機関情報、研究者とデータとをつなげる学術情報のハブとしての能力を向上させるため、広範囲な組織間で連携しています。CrossRefメタデータには、今や資金配分機関IDと、ライセンス情報、ORCID IDとDataCite DOIが含まれており、私たちは共通のサービスでJaLCや他のDOI登録機関と協力しています。CrossRefはそのメタデータを利用可能にし、学術コミュニケーションを向上させるために、これらの他のIDシステムとつなげます。信頼できるメタデータ（必ずしもCrossRefが提供するものに限らず）は、資金配分情報と出版物とをつなげるために資金配分機関、大学、出版社や研究者が利用できるサービスにすることを可能にし、最終的には資金配分の効果を測定するのに役立ち、また研究者が自身の出版物の信頼を獲得することが保証されます。

サルヴァトーレ・メレ 博士

＜講演者紹介＞
高エネルギー物理学の博士号を取得、CERNのオープンアクセス代表。INSPIRE（inspirehep.net）創設者の一人。INSPIREは世界規模の高エネルギー物理学コミュニティのための情報管理のハブである研究所のグローバルコンソーシアムが運営する完全なデジタルライブラリです。彼のチームのソフトウェア開発者と情報科学者は、著者の曖昧性を解消し、自動的にメタデータを抽出し、ハイレベルな研究データやクラウドソースキュレーションを公開する革新的な方法を模索しています。彼らは研究コミュニティ、姉妹サービスと主要出版社との密接なパートナーシップで働いています。彼らは主要イニシアティブとしてORCIDとデータ引用を高エネルギー物理学学術コミュニケーションに統合することに熱心です。平行してSCOAP3（Sponsoring Consortium for Open Access Publishing in Particle Physics＝高エネルギー物理学分野（HEP)の査読付きジャーナル論文のオープンアクセス化を実現することを目的とした国際連携プロジェクト）でHEP分野の研究者を擁する世界20ヵ国以上の研究機関，大学図書館等に協力を呼び掛けています。最近は欧州委員会のためのオープンアクセスとオープンデータ政策研究をコーディネートし、この分野においていくつかのCERNのイニシアティブをサポートしています。
＜講演概要＞
欧州、米国と中国の研究所のコンソーシアムが運営するINSPIRE電子図書館（inspirehep.net）は、100万件以上のレコード（プレプリント、論文といくつかのデータセット）を所蔵し、1秒間に2件以上の検索のトラフィック性能を高エネルギー物理学の分野で50,000人規模の世界的なコミュニティユーザーに提供しています。 アルゴリズムクラスタリング、マニュアルキュレーション、およびクラウドソーシングを組み合わせることにより、INSPIREは現在人気のある伝記的、書誌情報、計量書誌情報を提示する「著者のプロフィールページ」を構築しました。 この様な世界情勢の中、ORCID識別子は素晴らしい機会を提供します。今回はORCID導入によって、どのようにそのようなサービスを広範囲にグローバルなユーザーベースでサポートでき利益をもたらせるか、そしてORCIDとの緊密な連携を通じて新たなサービスを構築することができるかについて、いくつかの事例を紹介します。

会場のご案内

パシフィコ横浜
第16回図書館総合展内 フォーラム第6会場
（アネックスホール 206）

＜交通アクセス＞
みなとみらい線「みなとみらい駅」より 徒歩3分
ＪＲ、市営地下鉄線「桜木町駅」より徒歩12分
＜所在地＞
〒220-0012　神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

本件に関するお問い合わせ先
独立行政法人
科学技術振興機構 Japan Science and Technology Agency
JaLC事務局
E-mail : **jalc-contact@jst.go.jp**